



2018 年 5 月 21 日

## SUPER GT 第 3 戦、2 台の Audi R8 LMS が粘り強く完走を果たす

- Audi Team Hitotsuyama は予選 9 位からトップをうかがうも、タイヤトラブルで 23 位に
- Team TAISAN は予選 15 位から着実な追い上げをみせながらマシントラブルで 28 位完走

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：斎藤 徹）は、Audi R8 LMS で 2018 年シーズンの SUPER GT GT300 クラスに参戦する 2 つのカスタマー（プライベート）チームをサポートしています。5 月 19 日（土）、5 月 20 日（日）、鈴鹿サーキット（三重県 1 周 5,804m）で 2018 SUPER GT 第 3 戦となる「SUZUKA GT 300km -FAN FESTIVAL-」が開催されました。

今年の SUPER GT GT300 クラスに Audi R8 LMS で参戦するのは、#21 Audi Team Hitotsuyama（アウディ チーム ヒトツヤマ）と、#26 Team TAISAN（チーム タイサン）の 2 チームです。決勝が行われた日曜日は快晴にも恵まれ、予選、決勝の 2 日間でのべ 53,000 人もの観客が来場しました。

予選は、快晴ながらもとても風の強いコンディションの中、実施されました。Audi Team Hitotsuyama は、まずリチャード ライアン選手がアタックを行い、トップから 10 位までのタイム差が 1 秒以内と実力が拮抗する中で 9 位のタイムで Q1 を突破しました。Q2 を担当した富田 竜一郎選手もライアン選手を上回るタイムを記録し、予選 9 位のポジションを獲得しました。

決勝の第 1 スティントは富田選手が担当。スタート時から着実に順位をあげ、レース中盤には暫定順位ながらも 2 位までポジションをあげました。ところが、ドライバー交替のためのピットインまで残り 1 周という状況で不運にもタイヤがバースト。どうにか無事にピットまでは戻ったものの順位を大きく落としてしまいました。第 2 スティントでは、ライアン選手が上位チームを上回るタイムで周回を続けて順位をあげ、23 位で完走となりました。

Team TAISAN は、予選 Q1 を川端 伸太郎選手が担当しました。渾身の走りをみせるも、上位 14 台のみが Q2 に進出可能な予選において、14 位とわずか 0.03 秒差で 15 位となりました。決勝レースは、第 1 スティントを山田 真之亮選手が担当。スタート後に順位を 1 つあげ、順調なペースで周回を重ねるも突然のマシントラブルに見舞われ緊急ピットインを余儀なくされました。マシンの修復に時間を要したため周回遅れでのコース復帰となりましたが、その後のレースラップは上位チームに匹敵するものでした。第 2 スティントの川端選手へとバトンタッチしたあとはトラブルもなく順調に周回を重ねて、粘り強く 28 位完走を果たしました。

### Audi Team Hitotsuyama チーム代表 一ツ山 亮次氏のコメント

「今回の予選では Q1 をライアン選手が突破して、Q2 では富田選手が 9 位になりました。両ドライバー共に調子もよく、もっといけると言っていましたしパフォーマンスには自信がありました。決勝では第 1 スティントを担当した富田選手のレース中のタイムがとてもよく、トップに迫る 2 位まで順位を上げていたこともあり、できるだけ多く周回を重ねてもらいました。ところがちょうどピットインの予定周回で、突然右のリアタイヤがバーストしてしまいました。詳細な原因の究明はまだこれからですが、予兆もなく起きてしまいました。不幸中の幸いだったのが、場合によっては事故にもつながりかねないトラブルの中で、無事にコース上に留まることができ完走を果たせたことです。ようやく表彰台も見えてきた状況だったので、粘り強く次のタイでもいいレースを展開したいと思います」

#### **Audi Team Hitotsuyama リチャード ライアン選手のコメント**

「予選 9 位というポジションは、正直に言えばもっと上を狙えると思っていただけに少し残念でした。しかし、チームもドライバーもタイヤの調子もよく、富田選手とのドライブスタイルもよく似ているのでセッティングに関するコミュニケーションなどもうまくいっています。決勝もいい雰囲気ですスタートできました。それだけにタイヤのトラブルはアンラッキーだったとしか言えません。次のタイは、昨年初めてポールポジションを取ったサーキットです。期待しててください」

#### **Audi Team Hitotsuyama 富田 竜一郎選手のコメント**

「予選 9 位という結果は決して悪いものではないと思いますが、自分自身としては正直に言えば失敗でした。タイヤの性能的にタイムを出すチャンスは 1 度しかないなかで前半は完璧でしたが、スプーンカーブでミスをしてしまいました。おそらく 3、4 番手を狙える感触だっただけに残念です。決勝ではペースも非常に良かったですし、バーストする前の周のセクター4 で自己ベストタイムが出ていたくらいで、レース展開としては自分自身で 100 点をつけてもいいのものでした。今回はとても残念ですが、タイは GT300 にデビューして初めて表彰台にあがったコースでもあります。次こそ表彰台を狙っていきます」

#### **Team TAISAN スーパーバイザー 中野 信治氏のコメント**

「今回のレースではマシンのセットアップも含めて、いいバランスでまとめられていました。レースのペースは悪くないですし、タイムはトップチームにも遜色ないものです。若いドライバー 2 人もとても頑張っていて走っていましたし、マシンもそれに応えてくれていました。原因はまだわかっていませんが、トラブルはレースにつきものですし、諦めず続けていけば必ずと結果はついてきます。チームの雰囲気もいいですし、結果が出るのは時間の問題だと思いますので期待しててください」

#### **Team TAISAN 山田 真之亮選手のコメント**

「予選では Q1 を突破できず出番がありませんでしたが、チームとしては全力を尽くしての 15 位でしたので悔いはありませんでした。決勝でもウォームアップ走行時から調子がよく自信をもってスタートできましたし、スタート後は順調に走っていました。途中、原因不明のパーツの落下によってタイヤを傷つけてしまったことでピットインすることになったのですが、マシンの修復後は今後役に立つデータを取得するためにも集中して、いいタイムで走行できました。次につなげていきたいと思います」

#### **Team TAISAN 川端 伸太郎選手のコメント**

「予選では Q1 を担当して、自分としてもマシンやタイヤのもてる力はしっかりと発揮できたと思います。それだけに上位と 100 分の 3 秒及ばず Q1 を突破できなかったのはとても残念でした。予選での速さを次への課題として取り組んでいきたいと思います。決勝もいいペースで走ることができましたし、マシンの感触は悪くありません。次のタイはチームは不参加なのですが、6 月はスーパー耐久の 24 時間レースに参戦するので、しっかりと走りこんで成長してその次の富士のレースに臨みたいと思います」

アウディジャパンは 2016 年来好評の Audi Sport customer racing パーツトレーラーを現地に配備して、SUPER GT に参戦するチームを支援しています。専用のトレーラーにボディー、トランスミッション、エンジン等レース車検に適合した約 2500 アイテム、約 8000 点もの部品を積載し、いかなるレース展開にも対応できるように準備を整えてチームとともに全国のサーキットを転戦します。SUPER GT ならびにスーパー耐久シリーズへの参戦チームのサポートを通じて、アウディのサブブランド Audi Sport の認知の向上、スポーツイメージの強化をはかります。

次戦、SUPER GT 第 4 戦は唯一の海外レースとして、6 月 30 日（土）～7 月 1 日（日）、タイのチャーン・インターナショナル・サーキットにて開催予定です。